施術所における
新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

一般社団法人徳島県接骨師会

２０２０年7月２０日

施術所内における新型コロナウイルス感染症の感染リスク

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議による「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」では感染拡大リスクとして以下の事項が挙げられている。

※一般的な状況における感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染だが、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の環境下であれば、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大されるリスクがあるとされている。

※集団感染が生じた場の共通点から、特に①密閉空間（換気の悪い密閉空間）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばすと届く距離での会話や発声）という３つの条件（三つの密）のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられる。

以上の点を踏まえ、施術所内での感染対策を以下の通り行う。

①密閉空間を避ける

- 施術所内は、施術スペースや待合室、その他スタッフの待機スペースも含め密閉空間と言える。一般的なエアコンでは換気にならないため、窓やドアを１時間に２回程度は開放し、こまめな換気に努める。
- 十分に換気するため、１度に２カ所以上の窓やドアを開放する。

②密集場所を避ける

- 患者同士が近距離になりすぎないよう、１m以上（可能であれば２m以上）の距離を確保する。また、予約優先制を導入するなど、患者同士や施術者、スタッフとの接触時間を出来る限り短くするよう努める。
- スタッフの待機スペースも含め、施術所内でのスタッフ間の距離を１m以上（可能であれば２m以上）確保するよう努める。

③密接場面の対策

- 飛沫等で器具や用具が感染源となる可能性があるため、出来る限り使い捨てのものを使用するか、消毒を徹底しておこなう。
- 施術時にマスクの着用が困難な場合を除き、患者に常時マスクの着用を促す。一方、施術者もマスクやフェイスガードなどの器具を使用し、施術者やスタッフと患者の

飛沫が直接接触しないよう、最大限の努力をする。
- ゴム手袋等の使用により、接触感染を防ぐよう努める。また、手袋を外したあとも含め、施術ごとに必ず手洗いや手指等の消毒を行い、それまで目や顔を触らないよう注意する。
- ドアノブ、待合室の椅子、洗面所の水道、トイレ等、不特定多数が触れる場所は、こまめに消毒する。ベッドは都度消毒する。
- 入口に手指消毒剤を配置し、ポスターや掲示物で使用を促す。
- ゴミを片付ける、回収する人は、手袋とマスクを着用する。ゴミはビニール袋に入れ密閉して縛り、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手洗いをする。
- 受付等、患者と対面する場所では、ビニールカーテン等で遮蔽する。
- 白衣はこまめに洗濯する。

また、基本的に誰もがこのウイルスを保有している可能性があることを考慮し、以下の通り対策を行う。

④施術者、スタッフの健康管理を行う

- 施術者、スタッフ全員の体温チェックを徹底し、発熱の兆候や体調不良がある場合は出勤停止とする。
- 施術者、スタッフの家族や同居者に、感染者や濃厚接触者が判明した場合も、出勤停止とし、他のスタッフとの接触について早急な実態把握に努める。

⑤患者への注意喚起を行う

- 発熱や咳、咽頭痛などの症状がある人は、来院をお断りすることを掲示物やＨＰで告知する。
- 施術者のマスクやゴーグル、ゴム手袋の使用について、同様に告知する。
- 待合室では一定の間隔を空けて座るよう、掲示物やＨＰで促す。

⑥感染者情報に接した場合の対応

- 保健所へ通知し、求められる情報を速やかに開示する。
- 保健所の指示に従い、休院する場合は（一社）徳島県接骨師会、テナント等へ連絡する。休院の期間は、保健所の指示に従った上で施術所で判断する。
- 感染患者と同時間帯に来院していた患者へ連絡する。
- 消毒を求められた場合の対応業者を、日頃から確認しておく。

終わりに

経済活動の再開に伴い、徳島ではまだ少数でありますが、全国的には再び感染者が増えている状況です。徳島でも、そのような状況になる危険は続いており、まだまだ予断を許しません。

（一社）徳島県接骨師会所属の施術所から、感染者を出さない、感染を拡大させないための取り組みを定めておくことは、きわめて重要であると考え、このようなガイドラインを作成いたしました。

患者様は当然のこと、施術者やスタッフの家族についても、生命と健康を守るために、このガイドラインに沿って施術をして頂くようお願いいたします。万が一、不用意な感染拡散が発覚するようなことがあれば、あらゆる施術所が風評被害にさらされることになります。何とぞ、厳重な対策をとっていただきますよう、お願い申し上げます。

なお、本ガイドラインは、新たな厚生労働省等の発表や要請があれば、随時見直して参ります。

一般社団法人　徳島県接骨師会

代表理事　尾崎 忠寿